



立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

三宅ビル7F

Tel.03-3595-9988

Fax.03-3595-9088

社会保障＝最強の経済政策

－「衣食住・医療・介護・教育」をすべての人に－

「Life Crossing」74号に『私の「社会保障立国」論』が掲載されました（本チラシ裏面）。日本がさらなる経済発展を遂げるためにも「衣食住・医療・介護・教育」をすべての人に不安なく保障することが必要（「社会保障＝最強の経済政策」）という柴田かつゆきの持論を述べた論稿です。

社会保障は柴田かつゆきの政治家としての原点です。是非ご一読ください。

柴田かつゆき プロフィール

1968年10月生まれ

開成高校・東京大学法学部卒業

弁護士

元 司法研修所教官（刑事弁護）

第二東京弁護士会副会長

森・濱田松本法律事務所パートナー

いつでも、どこでも

「なんでも相談会」巡回開始！

お困りごとや政治へのご意見など、なんでも・いつでも・どこでも、柴田かつゆきにお声掛けください。しばかつくんの「なんでも相談会」のぼり旗が目印！



柴田かつゆき事務所 公認キャラクター
しばかつくん

柴田かつゆきの「好き」

趣味：大東流合気武術（初伝初段）・柔道（3段）・何かを読むこと（マンガ含む）

家族：妻（薬剤師）

言葉：不貪不暋不痴（みんなのために、明るく、頑張る）、実力も運のうち

編集後記 事務所スタッフの「独り言」

柴田かつゆきの身近にいる者の一人としていつも考えていることがある。それは、私が感じている柴田かつゆきの魅力をどうすれば多くの方にお伝えできるかだ。「いい人だね」彼と言葉を交わした人は大抵そういう印象を受ける。街頭演説では時たま違う表情を見せることがある。それを見て「この人は本気で変えてくれようとしているんだ！」と心から感じるができる。私は、彼は自分の想いを表現するのが上手な人ではないと思っている。それは弁護士として長年、自分の意見を言うことよりも、相手の話に心を寄せることをしてきたからだと思う。それでも柴田かつゆきは熱い想いを持っている。みんなの未来のために想っている。私はその想いに触れることができている。嬉しい。

スタッフN

SNS更新中！

QRコードよりチェック！



柴田かつゆき事務所

〒134-0091 東京都江戸川区船堀1-4-10 第2乙女屋マンション604

電話：050-8886-1651 FAX：050-3488-7290 メール：office.kshibata@gmail.com

私の「社会保障立国」論

東京 江戸川区 弁護士 柴田 勝之

私は弁護士として28年間働いてきた中で、社会保障の不備が原因で、貧困や犯罪などの不幸に見舞われた人をたくさん見てきました。そのため、十分な社会保障を整備すること、具体的には「衣食住・医療・介護・教育」を日本に生きる全ての人（外国人を含む）に不安なく保障することが必要と考えています。以下では、私の持論である、日本がさらなる経済発展を遂げるためにも社会保障を完備すべきという「社会保障立国」論の概略を述べたいと思います。

諸外国の実例

日本は社会保障と経済成長のバランスが取れた「中負担・中福祉」国家を目指す、という言い方を聞くことがあります。社会保障は経済成長にとって足かせというイメージがあるのでしょうか。しかし、経済成長の指標である「一人当たりの名目GD



街頭演説中の筆者

りません（ちなみに国のお金で外国から兵器等を買うことは国富の流出になります）。そして政府支出の増加には、支出先の従事者が使えるお金を増やし、その使ったお金を

を受け取った者が使えるお金も増やし、またそのお金を受け取った者が...という経済波及効果があります。 兪炳匡著『日本再生のための「プランB」』では、

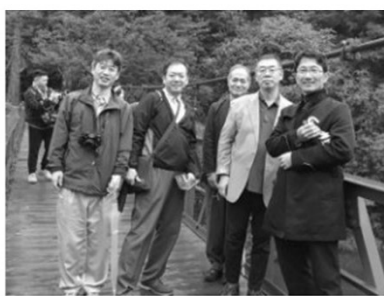
社会保障支出の経済波及効果は公共事業支出などと比べても高い（例えば保健衛生部門への支出は、支出額の6・106倍に及ぶGDP増額効果がある）という研究結果が紹介されています。

社会保障完備による「資産選好」減少

小野善康著「資本主義の方程式」は、経済が成長段階から成熟段階に移行して人々の「資産選好」が「消費選好」を上回る（お金を消費するよりも蓄えたいくなる）ようになったことが、経済停滞と格差拡大の原因としていま

社会保障支出の経済波及効果

政府支出の増加は「国のお金」がなくなることを意味しません。日本国内で支出される限りは政府の支出＝国民の収入ですので、国（政府＋国民）のお金全体としては変わ



秋田県抱返り溪谷への司法研修所教官旅行 (右端が筆者)

す。前項で述べた経済波及効果も、お金を受け取った人がそのお金を使わずに貯めてしまふと効果が損なわれます。私の父（83歳）は将来が不安だと言って貯金を使おうとしませんが、日本には同じような高齢者が多いのではないかと思います。他方、社会保障への信頼が高い北欧諸国では将来不安から貯蓄に励む人は少ないと言われます。日本でも社会保障を完備して将来不安を解消することが「資産選好」を減少させ経済成長に資すると考えます。

「心理的安全性」による「心理的安全性」によるパフォーマンズの向上

組織論においては、心理的安全性（構成員がリスクを感じることなく安心して自分の考えを述べたり行動したりで

きること）が、構成員の生産性・創造性・学習能力や、構成員同士の連帯感・チームワークを高め、組織全体のパフォーマンスを向上させるとされています。少し飛躍があるかもしれませんが、私は、日本も一つの組織と見立てて、社会保障を完備することが日本に暮らす人々の「心理的安全性」を高め、日本全体のパフォーマンス向上につながるという考えを持っています。例えば、もし失敗しても社会保障というセーフティネットがあるとすればリスクを冒して起業に挑戦する人も増えると思いますし、解雇されたり路頭に迷う恐れから経営者に意見したり不正を告発したりできないといったことも減って、より公正で活力ある社会になっていくと考えます。

私は、不幸な人を減らすために自分の人生を最大限に活かしたいという思いから、政治の世界に転身する決意をしました。そして以上述べた理由から、政治活動の中でも社会保障の整備にライフワークとして取り組んでいきたいと考えています。